

世羅町大田庄歴史館

☎ 0847-22-4646

📍 世羅郡世羅町甲山 159

🕒 10:00 ~ 17:00

📅 休み / 火・木曜、年末年始

🎫 入館料 / 210円、中学生以下 100円、

※世羅町内の高校生以下無料

10月1日 リニューアルオープン!



A. 今高野山龍華寺の2体の木造十一面観音立像は国の重要文化財で、それぞれケヤキ材とセندان材の一本造りです。いずれも平安中期に当たる藤原時代初期の秀作で、左右対称ではなく、腰をわずかにひねり、右膝をわずかに屈した、より人間に近づいた様相が表現されています。年に1度、8月20日に開帳されます。また、今高野山の元



重要文化財
木造十一面観音立像
伝空海(弘法大師)作
(セندان材、高さ1.8m)

白毫には水晶が使われ、頭に載っている天冠台、宝飾を結ぶ冠帯、胸飾、糸帛、天衣などが刻まれている

Q. 世羅にある重要文化財について知りたい!

鎮守であった丹生神社に伝わる木造獅子頭も国の重要文化財で、鎌倉時代の貴重なものです。大田庄歴史館で期間限定で公開されますので、ぜひ見に来てください。

mihara sera



重要文化財
木造十一面観音立像
伝春日仏師作(ケヤキ材、高さ1.7m)

仏の眉間の上に生えているとされる白い毛「白毫(びやくごう)」には水晶が使われ、頭に載っている天冠台、体に巻かれた細長い糸帛(じょうはく)、天衣(てんぬ)などが刻まれている



重要文化財 木造獅子頭

下顎の裏に、国内にある獅子頭としては、三重県の伊奈富神社獅子頭(1280年)に次ぐ「正安3(1301)年辛丑」の記年銘などがある

世羅町には、「世羅さん」「世良さん」は住んでいないんです!
(2021年6月末現在)



世羅町教育委員会事務局

林 光輝さんに教わる

世羅の歴史

世羅町教育委員会事務局 社会教育課主査兼学芸員、せらにシタウンセンター主査。今高野山の境内にある歴史資料館「世羅町大田庄歴史館」の改修に関わっている。

Q. なぜ「世羅」ってさうなの?

A. 平安時代の805年に、『類聚三代格』と『日本後紀』の中で初めて登場し、「世羅郡では年貢を鉄で納めた」ことが書かれています。由来についてははっきりしていませんが、川の水の源となる地域だという『せせらぎ』が変化した説、「世羅」と国名が似ている古代朝鮮半島の新羅王朝から亡命者が住み着いた「半島からの渡来人説」、特産だった「稲」

「世」、絹糸で編んだ織物を意味する「羅」を著している「特産物表徴説」、弥生時代に大和政権が吉備国を平定したのちに派遣された地方長官の名前「世良彦命」に由来する説」などがあります。

Q. 「世羅町」になるまでの変遷は?

A. 現在の世羅郡世羅町甲山および西上原の一部は、江戸期には「甲山

町」と呼ばれており、明治期に町村制施行により甲山町、小世良村、西上原面村が「甲山村」になりました。その後、町政施行での「甲山町」を経て1955年の合併により改めて甲山町に、2004年に世羅郡世羅町、甲山町、世羅西町の3町が合併、現「世羅町」が誕生しました。

Q. 県史跡「今高野山」の成り立ちを教えてください!

A. 平家が滅亡し、鎌倉幕府が始まった頃の1186年、現在の世羅町にあった中世の荘園「大田庄」は、戦死者供養のための財源を生み出すため、和歌山県の高野山根本大塔の領地となりました。高野山は空海(弘法大師)が修禅の道場とした場所、根本大塔は、空海が道場として建てた塔のこと。以後は、高野山を本家職とする荘園になりました。このため、高野山は大田庄のあった地に、西の別格本山として、総合的役割を持つ政所寺院を建立したのです。これが今高野山の寺々です。※「荘園」は「荘園」とも書く。

Q. 「今高野山」の「今」には何か意味があるの?

A. 「今」という字には「新しい」という意味があるんです。「新・高野山」「新しい高野山」というイメージですね。「今」に続けて、本山と同じ「高野山」と名が付くことから、全国の高野山の領地の中でも一置かれた庄園であったことがうかがえます。



紅葉に包まれる今高野山龍華寺